



上厚崎の板碑



関根の板碑



上黒磯の板碑

私のまちの

近い遺産

問い合わせ
生涯学習課
☎0287(37)5419

Topic

本郷町の馬頭観世音

農家で飼っている馬の健康や、亡くなった馬の供養のために建てられる馬頭観世音。本郷町には市内最大の馬頭観世音を含む16基もの碑塔が集まる「本郷町の馬頭観世音」があります。ここは江戸へ米を運ぶため、会津藩が専用道として設けた「原街道」の難所である那珂川の渡河地点にあり、米の輸送に携わった馬の健康や、落命した馬の供養のために建てられたものと考えられています。



ご先祖様を見守る“板碑” ～もの言わぬ歴史の語りべ～

今年もお盆が近づいてきましたね。ご先祖様を迎えるために先祖代々のお墓をきれいにして・・・とそんなとき、あなたの近くにもあるかもしれない文化財を紹介します。

供養のためにお墓に建てる「卒塔婆」。今でこそ木製が主流ですが、かつては石で作られたものもありました。石でできた卒塔婆のことを「板碑」といい、主に鎌倉時代から室町時代にかけて作られていました。関東では青緑色をした緑泥片岩を使ったものが多く、東北では安山岩や凝灰岩が使われています。

この文化の交わる場所であったことがわかります。どの板碑にも上部に2本の線、中央には阿弥陀如来を表す種子(仏を表す梵字)が刻まれているほか、「上厚崎の板碑」には蓮台(仏が座る蓮の花をかたどった台座)や「正慶二年三月(1333年)の文字が確認できます。3つの板碑のうち「関根の板碑」は那須野が原博物館にて收藏されていますが、ほかの2つの板碑は現在も墓地にあり、お墓を訪れる人々をそっと見守り続けています。今年お墓参りに行くときには、ちよと周りを見回してみてくださいね。